

令和5年度

仙台市高速鉄道事業会計  
決算説明資料

- 1 決算の概況
- 2 事業実績表
- 3 予算決算比較表
- 4 建設改良事業の概要

仙台市交通局

# 1 決算の概況

本年度の高速鉄道事業は、東西線の乗車料収入については、沿線人口の増加等に伴い、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準以上に回復する一方で、南北線の乗車料収入については、依然として回復に至らない厳しい経営状況のなか、「仙台市交通事業経営計画」の4つの戦略「安全・安心の推進」、「快適なお客さまサービスの提供」、「まちづくりへの貢献」、「持続可能な経営の確保」に基づき、各種取組みを進めてまいりました。

施設設備の計画的な維持更新の取組みとして、南北線において、老朽化した高圧配電線路等の更新を実施したほか、令和6年度の南北線新型車両の営業運転開始に向けて、営業線での試験走行を開始するなど準備を進めました。また、危機・自然災害への対応の取組みとして、車内テロ事件の発生及び弾道ミサイルの飛来を想定した対応訓練や、台風等の大雨による浸水への対策として、仙台駅、勾当台公園駅及び広瀬通駅への止水板の配備を実施しました。

利用しやすい環境整備の取組みとして、南北線において、施工対象駅全駅の改札階からホームにおけるエスカレーター設備の増設を完了したほか、前年度に引き続きホームと車両の隙間縮小事業を進めるなど利便性の向上に努めました。

公共交通の利用促進の取組みとして、「全国都市緑化仙台フェア」の開催に合わせ、「仙台 MaaS」にて各会場を快適に周遊できる一日乗車券を販売したほか、車両基地内を見学できる「バス・ちか探検ツアー」を実施し、新型車両を一般公開するなど広報活動を行いました。

経営の健全化の取組みとして、20駅における駅業務委託を継続したことに加え、令和5年7月には、南北線と東西線の乗継改善を図りながら、利用状況を踏まえたダイヤ改正を実施しました。また、経営計画上の収支見通しと現状との乖離等を踏まえ、「仙台市交通事業経営検討委員会」を設置し、計画の見直しに着手しました。

このような状況のなか、乗客数は90,136千人（1日平均246,272人）と前年度に比較して7,313千人、8.8パーセントの増、乗車料収入（消費税及び地方消費税抜き）は155億1百万円（敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証負担金を含む。）と前年度に比較して13億7千1百万円、9.7パーセントの増となりました。本年度における収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）につきましても、前年度に比較して8億7千6百万円改善し、7億5千3百万円の純損失となり、当年度未処理欠損金は981億4千万円となっております。

今後、車両更新等の大規模な施設設備の更新を予定しているなか、経営計画の見込みを上回る新型コロナウイルス感染症の影響や電力価格の高騰等により、引き続き厳しい経営環境が見込まれますが、本市における基幹交通機関として市民生活において重要な役割を果たせるよう、計画に基づく各種取組みを推進するとともに、経営環境の変化も踏まえた計画の見直しを進め、安全・安心を最優先とした持続可能な経営を目指してまいります。

## 2 事業実績表

区 分	年 度	単位	令和5年度 (C)	令和4年度 (D)	対前年度比較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業 キ ロ		km	28.7	28.7	0.0	100.0
在 籍 車 両		両	144	144	0	100.0
年間走行キロメートル		km	11,776,052	12,611,472	△ 835,420	93.4
乗 客 数	定 期 外 (A)	人	40,115,208	37,024,444	3,090,764	108.3
	定 期	人	50,020,500	45,799,020	4,221,480	109.2
	計 (B)	人	90,135,708	82,823,464	7,312,244	108.8
	一日当り	人	246,272	226,914	19,358	108.5
乗車料収入	定 期 外	千円	8,937,148	8,106,558	830,590	110.2
	定 期	千円	6,563,553	6,023,112	540,441	109.0
	計	千円	15,500,701	14,129,670	1,371,031	109.7
	一日当り	千円	42,352	38,711	3,641	109.4
職 員 数 ( 管 理 者 除 く )		人	437	427	10	102.3
輸送人員定期外比率 (A)/(B)		%	44.5	44.7	△ 0.2	—

(注) 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。

## (参考) 事業実績表路線別内訳

(南北線)

区 分	年 度	単位	令和5年度 (C)	令和4年度 (D)	対前年度比較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業 キ ロ		km	14.8	14.8	0.0	100.0
在 籍 車 両		両	84	84	0	100.0
年間走行キロメートル		km	6,312,852	6,738,333	△ 425,481	93.7
乗 客 数	定 期 外	人	29,544,811	27,489,117	2,055,694	107.5
	定 期	人	38,942,880	35,965,560	2,977,320	108.3
	計	人	68,487,691	63,454,677	5,033,014	107.9
	一日当り	人	187,125	173,848	13,277	107.6
乗車料収入	定 期 外	千円	6,603,392	6,030,075	573,317	109.5
	定 期	千円	4,794,032	4,439,761	354,271	108.0
	計	千円	11,397,424	10,469,836	927,588	108.9
	一日当り	千円	31,141	28,684	2,456	108.6

(東西線)

区 分	年 度	単位	令和5年度 (C)	令和4年度 (D)	対前年度比較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業 キ ロ		km	13.9	13.9	0.0	100.0
在 籍 車 両		両	60	60	0	100.0
年間走行キロメートル		km	5,463,200	5,873,139	△ 409,939	93.0
乗 客 数	定 期 外	人	12,784,156	11,652,168	1,131,988	109.7
	定 期	人	17,571,060	15,820,800	1,750,260	111.1
	計	人	30,355,216	27,472,968	2,882,248	110.5
	一日当り	人	82,938	75,268	7,670	110.2
乗車料収入	定 期 外	千円	2,333,756	2,076,483	257,272	112.4
	定 期	千円	1,769,521	1,583,351	186,170	111.8
	計	千円	4,103,277	3,659,834	443,442	112.1
	一日当り	千円	11,211	10,027	1,184	111.8

(注) 1 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。

また、乗客数は南北線と東西線の乗換え分をそれぞれ含んでいる。

2 乗車料収入の金額は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値と前頁における当該項目の数値が一致しない場合がある。

### 3 予算決算比較表

(収益的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和5年度予算額				令和5年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額 (△減)	合 計 (A)		
<b>高速鉄道事業収益</b>	<b>22,261,029</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>22,261,029</b>	<b>22,635,349</b>	<b>374,320</b>
営業収益	18,001,854	0	0	18,001,854	18,416,993	415,139
運輸収益	16,469,821	0	0	16,469,821	16,932,291	462,470
運輸雑収益	1,532,033	0	0	1,532,033	1,484,702	△ 47,331
営業外収益	4,258,570	0	0	4,258,570	4,216,375	△ 42,195
受取利息及び配当金	12	0	0	12	510	498
他会計補助金	237,874	0	0	237,874	190,669	△ 47,205
長期前受金戻入	3,975,680	0	0	3,975,680	3,977,167	1,487
雑収益	45,004	0	0	45,004	48,029	3,025
特別利益	605	0	0	605	1,981	1,376
その他特別利益	605	0	0	605	606	1
過年度損益修正益	0	0	0	0	1,375	1,375
<b>高速鉄道事業費用</b>	<b>25,040,348</b>	<b>△ 1,103,247</b>	<b>0</b>	<b>23,937,101</b>	<b>23,164,104</b>	<b>△ 772,997</b>
営業費用	23,086,546	△ 1,209,768	0	21,876,778	21,181,812	△ 694,966
人件費	4,249,160	△ 306,768	0	3,942,392	3,771,662	△ 170,730
経費	9,319,257	△ 903,000	0	8,416,257	7,892,694	△ 523,563
減価償却費	9,518,129	0	0	9,518,129	9,517,456	△ 673
営業外費用	1,903,792	106,521	△ 7,581	2,002,732	1,974,701	△ 28,031
支払利息及び企業債取扱諸費	1,448,485	0	△ 74,859	1,373,626	1,345,676	△ 27,950
消費税及び地方消費税	454,307	106,521	67,278	628,106	628,105	△ 1
雑支出	1,000	0	0	1,000	920	△ 80
特別損失	10	0	7,581	7,591	7,591	0
過年度損益修正損	10	0	7,581	7,591	7,591	0
予備費	50,000	0	0	50,000	0	△ 50,000
当年度純損益(税込み)	△ 2,779,319	1,103,247	—	△ 1,676,072	△ 528,755	1,147,317
<b>当年度純損益(税抜き)</b>	<b>△ 3,014,274</b>	<b>1,128,222</b>	<b>—</b>	<b>△ 1,886,052</b>	<b>△ 752,552</b>	<b>1,133,500</b>

繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 97,387,176	0	—	△ 97,387,176	△ 97,387,176	0
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△100,401,450	1,128,222	—	△ 99,273,228	△ 98,139,728	1,133,500

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

(参考) 収益の収支路線別予算決算比較表

(南北線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 5 年 度 予 算 額				令和5年度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額 (△ 減)	合 計 (A)		
<b>高 速 鉄 道 事 業 収 益</b>	<b>14,565,736</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>14,565,736</b>	<b>14,840,489</b>	<b>274,753</b>
営 業 収 益	13,172,961	0	0	13,172,961	13,475,917	302,956
運 輸 収 益	12,099,412	0	0	12,099,412	12,444,624	345,212
運 輸 雑 収 益	1,073,549	0	0	1,073,549	1,031,293	△ 42,256
営 業 外 収 益	1,392,170	0	0	1,392,170	1,362,935	△ 29,235
受 取 利 息 及 び 配 当 金	9	0	0	9	383	374
他 会 計 補 助 金	174,113	0	0	174,113	137,680	△ 36,433
長 期 前 受 金 戻 入	1,200,426	0	0	1,200,426	1,201,912	1,486
雑 収 益	17,622	0	0	17,622	22,961	5,339
特 別 利 益	605	0	0	605	1,637	1,032
そ の 他 特 別 利 益	605	0	0	605	605	0
過 年 度 損 益 修 正 益	0	0	0	0	1,032	1,032
<b>高 速 鉄 道 事 業 費 用</b>	<b>12,612,729</b>	<b>△ 698,484</b>	<b>△ 21,134</b>	<b>11,893,111</b>	<b>11,486,083</b>	<b>△ 407,028</b>
営 業 費 用	11,504,176	△ 778,739	△ 4,682	10,720,755	10,371,756	△ 348,999
人 件 費	2,593,450	△ 166,659	0	2,426,791	2,327,298	△ 99,493
経 費	5,500,319	△ 612,080	0	4,888,239	4,639,406	△ 248,833
減 価 償 却 費	3,410,407	0	△ 4,682	3,405,725	3,405,052	△ 673
営 業 外 費 用	1,078,543	80,255	△ 22,135	1,136,663	1,108,634	△ 28,029
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	681,280	0	△ 60,452	620,828	592,878	△ 27,950
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	396,263	80,255	39,092	515,610	515,610	0
雑 支 出	1,000	0	△ 775	225	145	△ 80
特 別 損 失	10	0	5,683	5,693	5,693	0
過 年 度 損 益 修 正 損	10	0	5,683	5,693	5,693	0
予 備 費	30,000	0	0	30,000	0	△ 30,000
<b>当 年 度 純 損 益 ( 税 込 み )</b>	<b>1,953,007</b>	<b>698,484</b>	<b>—</b>	<b>2,672,625</b>	<b>3,354,406</b>	<b>681,781</b>

(東西線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 5 年 度 予 算 額				令和5年度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額 (△ 減)	合 計 (A)		
<b>高 速 鉄 道 事 業 収 益</b>	<b>7,695,293</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>7,695,293</b>	<b>7,794,859</b>	<b>99,566</b>
営 業 収 益	4,828,893	0	0	4,828,893	4,941,076	112,183
運 輸 収 益	4,370,409	0	0	4,370,409	4,487,667	117,258
運 輸 雑 収 益	458,484	0	0	458,484	453,409	△ 5,075
営 業 外 収 益	2,866,400	0	0	2,866,400	2,853,440	△ 12,960
受 取 利 息 及 び 配 当 金	3	0	0	3	128	125
他 会 計 補 助 金	63,761	0	0	63,761	52,988	△ 10,773
長 期 前 受 金 戻 入	2,775,254	0	0	2,775,254	2,775,255	1
雑 収 益	27,382	0	0	27,382	25,068	△ 2,314
特 別 利 益	0	0	0	0	344	344
過 年 度 損 益 修 正 益	0	0	0	0	344	344
<b>高 速 鉄 道 事 業 費 用</b>	<b>12,427,619</b>	<b>△ 404,763</b>	<b>21,134</b>	<b>12,043,990</b>	<b>11,678,021</b>	<b>△ 365,969</b>
営 業 費 用	11,582,370	△ 431,029	4,682	11,156,023	10,810,055	△ 345,968
人 件 費	1,655,710	△ 140,109	0	1,515,601	1,444,364	△ 71,237
経 費	3,818,938	△ 290,920	0	3,528,018	3,253,288	△ 274,730
減 価 償 却 費	6,107,722	0	4,682	6,112,404	6,112,403	△ 1
営 業 外 費 用	825,249	26,266	14,554	866,069	866,068	△ 1
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	767,205	0	△ 14,407	752,798	752,798	0
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	58,044	26,266	28,186	112,496	112,495	△ 1
雑 支 出	0	0	775	775	775	0
特 別 損 失	0	0	1,898	1,898	1,898	0
過 年 度 損 益 修 正 損	0	0	1,898	1,898	1,898	0
予 備 費	20,000	0	0	20,000	0	△ 20,000
<b>当 年 度 純 損 益 ( 税 込 み )</b>	<b>△ 4,732,326</b>	<b>404,763</b>	<b>—</b>	<b>△ 4,348,697</b>	<b>△ 3,883,162</b>	<b>465,535</b>

(注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。

なお、路線別の内訳は、一部、運輸収益比や営業キロ比等により按分をしている。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値と前頁における当該項目の数値が一致しない場合がある。

(資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和5年度予算額					令和5年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増減額 (△減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	繰越額	合計 (A)			
<b>高速鉄道事業資本的収入</b>	<b>4,343,323</b>	<b>△ 275,000</b>	<b>0</b>	<b>676,333</b>	<b>4,744,656</b>	<b>4,154,281</b>	<b>15,000</b>	<b>△ 575,375</b>
企業債	3,026,000	△ 220,000	0	505,000	3,311,000	2,844,000	12,000	△ 455,000
特例債	526,000	0	0	0	526,000	526,000	0	0
平準化債	164,000	0	0	0	164,000	164,000	0	0
出資金	531,000	△ 55,000	0	132,000	608,000	489,000	3,000	△ 116,000
他会計補助金	91,668	0	0	3,333	95,001	91,737	0	△ 3,264
その他資本的収入	4,655	0	0	0	4,655	3,739	0	△ 916
国庫補助金	0	0	0	36,000	36,000	35,805	0	△ 195
<b>高速鉄道事業資本的支出</b>	<b>12,151,532</b>	<b>△ 274,725</b>	<b>0</b>	<b>678,250</b>	<b>12,555,057</b>	<b>11,959,011</b>	<b>15,004</b>	<b>△ 581,042</b>
建設改良費	2,672,429	△ 274,725	0	678,250	3,075,954	2,510,002	15,004	△ 550,948
企業債償還金	9,448,993	0	0	0	9,448,993	9,448,991	0	△ 2
投資	100	0	0	0	100	18	0	△ 82
その他資本的支出	10	0	0	0	10	0	0	△ 10
予備費	30,000	0	0	0	30,000	0	0	△ 30,000
<b>差 引</b>	<b>△7,808,209</b>	<b>△ 275</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,917</b>	<b>△7,810,401</b>	<b>△7,804,730</b>	<b>△ 4</b>	<b>5,667</b>

<b>補てん財源</b>	<b>2,275,314</b>	<b>877,130</b>	<b>32,291</b>	<b>61,659</b>	<b>3,246,394</b>	<b>4,288,072</b>	<b>1,364</b>	<b>1,043,042</b>
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	229,342	△ 24,975	0	61,659	266,026	218,947	1,364	△ 45,715
損益勘定留保資金等	6,191,562	△ 226,117	32,291	0	5,997,736	5,952,993	0	△ 44,743
当年度純損益	△ 3,014,274	1,128,222	0	0	△ 1,886,052	△ 752,552	0	1,133,500
前年度繰越金	△ 1,131,316	0	0	0	△ 1,131,316	△ 1,131,316	0	0
<b>資本費負担緩和分企業債</b>	<b>559,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>559,000</b>	<b>523,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 36,000</b>
<b>特別減収対策企業債</b>	<b>2,200,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,200,000</b>	<b>2,200,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当年度末資金剰余額</b>	<b>△2,773,895</b>	<b>876,855</b>	<b>32,291</b>	<b>59,742</b>	<b>△1,805,007</b>	<b>△ 793,658</b>	<b>1,360</b>	<b>1,012,709</b>

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

○資金不足比率

(単位：千円、%)

資金不足額 (※1) (a)	事業規模 (※2) (b)	資金不足比率 (a)/(b)
0	16,866,257	—

※1 資金不足額については、解消可能資金不足額22,341,593千円を控除した額である。

※2 事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

## (参考) 資本的収支路線別予算決算比較表

(南北線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和5年度予算額					令和5年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増減額 (△減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額 (△減)	繰越額	合 計 (A)			
<b>高速鉄道事業資本的収入</b>	<b>2,891,323</b>	<b>△ 275,000</b>	<b>0</b>	<b>613,233</b>	<b>3,229,556</b>	<b>2,696,180</b>	<b>0</b>	<b>△ 533,375</b>
企業債	1,927,000	△ 220,000	0	455,000	2,162,000	1,742,000	0	△ 420,000
特例債	202,000	0	0	0	202,000	202,000	0	0
平準化債	164,000	0	0	0	164,000	164,000	0	0
出資金	502,000	△ 55,000	0	121,000	568,000	459,000	0	△ 109,000
他会計補助金	91,668	0	0	2,228	93,896	90,632	0	△ 3,264
その他資本的収入	4,655	0	0	0	4,655	3,738	0	△ 917
国庫補助金	0	0	0	35,005	35,005	34,810	0	△ 195
<b>高速鉄道事業資本的支出</b>	<b>7,627,734</b>	<b>△ 274,725</b>	<b>△ 750</b>	<b>614,678</b>	<b>7,966,937</b>	<b>7,437,280</b>	<b>0</b>	<b>△ 529,657</b>
建設改良費	2,523,697	△ 274,725	△ 750	614,678	2,862,900	2,351,296	0	△ 511,604
企業債償還金	5,085,967	0	0	0	5,085,967	5,085,965	0	△ 2
投資	60	0	0	0	60	18	0	△ 42
その他資本的支出	10	0	0	0	10	0	0	△ 10
予備費	18,000	0	0	0	18,000	0	0	△ 18,000
<b>差 引</b>	<b>△ 4,736,411</b>	<b>△ 275</b>	<b>750</b>	<b>△ 1,445</b>	<b>△ 4,737,381</b>	<b>△ 4,741,099</b>	<b>0</b>	<b>△ 3,718</b>

(東西線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和5年度予算額					令和5年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増減額 (△減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額 (△減)	繰越額	合 計 (A)			
<b>高速鉄道事業資本的収入</b>	<b>1,452,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>63,101</b>	<b>1,515,101</b>	<b>1,458,101</b>	<b>15,000</b>	<b>△ 42,000</b>
企業債	1,099,000	0	0	50,000	1,149,000	1,102,000	12,000	△ 35,000
特例債	324,000	0	0	0	324,000	324,000	0	0
出資金	29,000	0	0	11,000	40,000	30,000	3,000	△ 7,000
他会計補助金	0	0	0	1,106	1,106	1,106	0	0
国庫補助金	0	0	0	995	995	995	0	0
<b>高速鉄道事業資本的支出</b>	<b>4,523,798</b>	<b>0</b>	<b>750</b>	<b>63,572</b>	<b>4,588,120</b>	<b>4,521,731</b>	<b>15,004</b>	<b>△ 51,385</b>
建設改良費	148,732	0	750	63,572	213,054	158,706	15,004	△ 39,344
企業債償還金	4,363,026	0	0	0	4,363,026	4,363,025	0	△ 1
投資	40	0	0	0	40	0	0	△ 40
予備費	12,000	0	0	0	12,000	0	0	△ 12,000
<b>差 引</b>	<b>△ 3,071,798</b>	<b>0</b>	<b>△ 750</b>	<b>△ 471</b>	<b>△ 3,073,019</b>	<b>△ 3,063,630</b>	<b>△ 4</b>	<b>9,385</b>

(注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値と前頁における当該項目の数値が一致しない場合がある。



## 4 建設改良事業の概要

(単位：千円)

科 目	令和5年度 事業費	主たる事業
建 物	570,524	エスカレーター設備増設・更新
線 路 設 備	132,150	トンネル坑口法面改修
電 路 設 備	636,252	I T V設備更新
車 両	194,015	画像伝送設備更新
機 械 装 置	849,210	車輪削正装置更新
工具・器具・備品	26,281	バス乗換案内表示機更新
その他無形固定資産	893	遺失物管理システム改修
建 設 諸 費	100,677	人件費及び事務経費
計	2,510,002	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。